

こうこうネットワーク

☆名称の由来

- ◎**高公**:知恵と力をあわせ地域における協働社会の仕組み作り
- ◎**煌々**:連携を通じて個人、学校、地域が煌々きらめく
- ◎**孝行**:地域に孝行(貢献、還元)
- ◎**こうこう**:こうこうだったね(学習)、こうこうしようね(意欲)

新しい取り組み『こうこうネットワーク事業』

瀬 戸内市唯一の県立高校、邑久高等学校。無限の力を秘めた若者たちが、楽しい高校生活を送っています。同校で、本年度から新しい取り組みが行われています。それは、『こうこうネットワーク事業』。

こ れは、邑久高等学校と隣接する邑久町公民館が、協力・連携しながら行っているもので、生徒たちが公民館で行っている



備前地区公民館振興大会で、それぞれ活躍する高校生たち

高校生ボランティアが活躍中

特集 学びの力を地域で発揮

2月2日、邑久町公民館で備前地区公民館振興大会が開催されました。大会進行にあたり、たくさんの高校生ボランティアの活躍する姿がありました。

ホールマネジメントを手伝う生徒、舞台の上で手話をする生徒など、高校生の若い力が発揮されています。地域・社会の一員として、今、高校生が輝いています。

今回は、その高校生にスポットを当て、地域と関わり合う姿を紹介します。

ろいろな講座を受講。多くの知識や技術を習得した後、公民館での事業やさまざまな大会に地域ボランティアとして活動します。

新入生から取り組み開始

平 成17年11月30日、邑久町公民館と邑久高等学校の間で、協力と連携を深め、地域の協働社会の仕組みを作ろうと、『こうこうネットワーク事業』の覚書が、締結されました。

同 校は、18年度の新入生から取り組みを開始。毎週金曜日の7時～9時(年間19授業)を『邑友タイム』とし、1学年の160人中72人(45%)が公民館などで自らの興味・意欲に応じていろいろな講座を選択し勉強します。

邑 久町公民館の登録グループは、現在69団体。邑友タイムでは、グループの代表が先生になり、「喜之助フェスティバル運営ボランティア」「ホールマネジメント講座」「パソコンIT活用講座」「図書室ボランティア」「手話サークル」など9講座を受け持ちます。



フォークダンスクラブと着付けクラブが合同でダンスに挑戦

授

業を受ける場所は、邑久町公民館と邑久高等学校。9講座のうち、自分が興味のある講座を決めて受講します。生徒たちは、公民館グループの講師から、さまざまな技術(パソコンスキル、舞台マネジメントスキル、図書読み聞かせスキルなど)を養います。

邑 友タイムの時間は、単位には含まれませんが、生徒たちにとって、普通の高校生活では経験できない貴重な体験をする時間となっています。



松井一彦さん(邑久町公民館長)

学習活動を通して、人づくり。地域づくりができる仕組みをつくりたいと思っていました。こうこうネットワークは、地域と高校がつながり、物理的にも精神的にも交流ができる関係です。

公民館は、住民と高校生をつなぐコーディネーター。住民は何を求めているか、生徒自身は何をしたのか、相互の意見が行き交って、互いの交流の場ができました。現代の人間関係の希薄さは、もっと濃密にすべきだと思います。一人一人がつながっていく人間関係が、ここからもっと広がってほしいと思います。



パソコン室開放日には、高校生パソコンボランティアが丁寧に教えてくれます